



2024年5月10日

各 位

会 社 名 日 新 商 事 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 筒 井 博 昭
(コード：7490、東証スタンダード)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 部 長 伊 藤 真
(TEL. 03 - 3457 - 6254)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2024年度からの3ヵ年を実施期間とする中期経営計画（長期ビジョン「nissin Vision 2030」フェーズII）を下記のとおり策定しましたので、お知らせします。

記

1. 前中期経営計画（長期ビジョン「nissin Vision 2030」フェーズI）の振り返り

(1) 計数実績

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
連結売上高	36,466	38,897	38,732
連結経常利益	674	952	752

(2) 主な事業戦略の成果と課題

① 成長事業への積極投資

再生可能エネルギー関連事業において、バイオマス発電燃料であるPKS (Palm Kernel Shell：パーム椰子殻)の出荷体制強化のため、海外拠点におけるストックヤードの増設やGGL認証の取得を実施しました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響等により、予定していたバイオマス発電燃料であるEFB (Empty Fruits Bunch) 及びOPT (Oil Palm Trunk) ペレットの生産体制構築に大幅な遅延が発生しました。

② コア事業の強化

直営SSにおいて、ドライブスルー型洗車機数を増やしたこと、新車・カーリース販売やレンタカー事業の強化、コーティング技術の向上等により顧客満足度を高め、目標収益を確保しました。法人向け営業においては、給油カードを通じた燃料油拡販に努め、販売数量が増加しました。またソリューションビジネスの強化や周辺ビジネスの取組みによりルブリカンツの採算性が向上したほか、シェアサイクル事業を開始するなどモビリティ事業にも進出しました。一方で、事業ポートフォリオの見直しにより、飲食事業の事業譲渡、連結子会社である日新レジン株式会社の解散を実施しました。

③ 経営基盤の強化

複線型コースの導入や賃上げを主眼とする新人事制度の構築（2024年4月1日開始）、副業制度の開始、継続的な教育研修の実施、採用強化等、社員の働き方への配慮や人材確保・定着のための施策を実施しました。コーポレート・ガバナンスにおいては、グループガバナンスの強化を図るため、子会社における業務・ルールの標準化、グローバル・コンプライアンスに関する規程整備や教育等を進めました。

④ SDGs 経営の推進

CO₂の排出量算定（スコープ1・2）の実施、経営幹部への教育実施、ツールを用いた社内啓蒙により全社的な意識向上を図るとともに、サステナビリティ委員会を設置するなどしてマテリアリティへの取組みを推進しました。

(3) 投資実績

(単位：百万円)

セグメント	2022年 3月期実績	2023年 3月期実績	2024年 3月期実績	合計
石油関連事業	151	332	84	567
再生可能エネルギー 関連事業	155	687	39	881
不動産事業	※1,005	173	587	1,765
経営基盤	15	17	3	35
合計	1,327	1,210	713	3,248

※2022年3月期における投資のうち949百万は、2020年8月の川崎市の液化石油ガス充填施設の売却資金を、2021年4月の東京都品川区のマンション取得（2021年3月取締役会決議）に充当したものであります。

2. 長期ビジョン「nissin Vision 2030」及び中期経営計画の概要

(1) 長期ビジョン「nissin Vision 2030」

① 対象期間

フェーズⅠ：2022年3月期から2024年3月期

フェーズⅡ：2025年3月期から2027年3月期

フェーズⅢ：2028年3月期から2030年3月期

② めざす姿

ビジョン	エネルギー企業として強固な地位の確立
経営方針	<ul style="list-style-type: none">・事業構造改革の次なるステージへ移行・石油関連事業の収益依存から脱却・グローバル展開強化により海外収益比率の増加・人材投資の強化・SDGs への貢献
重点戦略	
フェーズⅠ	<ul style="list-style-type: none">・成長事業投資の継続・コア事業の強化
フェーズⅡ	<ul style="list-style-type: none">・再生可能エネルギー事業等の新規ビジネスの成長・不確実性や多様化に適応した人材と組織開発
フェーズⅢ	<ul style="list-style-type: none">・持続可能性の高いビジネスモデル構築・ポスト設立 80 周年に向けた成長事業の多様化

(2) 中期経営計画

① 対象期間

2025年3月期から2027年3月期までの3カ年

② 基本戦略

今中期経営計画は、長期ビジョン「nissin Vision 2030」のフェーズⅡとして、次の基本戦略を掲げております。

i 企業価値向上経営の進展

重点目標は以下のとおりです。

ア. 再生可能エネルギー関連事業の成長

イ. コア事業の強化

ウ. モビリティ事業の進化

ii サステナビリティ経営の推進

③ 前提条件

項目	前提条件
原油価格(ドバイ)	90\$/B
為替	150.0 円/\$
製品需要	各種内需相当

④ 経営目標

i 目標数値

連結経常利益 8 億円を目指します。

(単位：百万円)

	2027 年 3 月期 目標	2024 年 3 月期 実績(参考)
連結売上高	45,000	38,732
連結経常利益	800	752

ii 株主還元方針

安定配当の継続を基本方針とし、業績に応じた増配を目指します。

⑤ 投資金額

セグメント別の投資金額は以下の通りとなります。

(単位：百万円)

セグメント	フェーズ I (2022 年 3 月期 ~2024 年 3 月期)	フェーズ II (2025 年 3 月期 ~2027 年 3 月期)	増減
石油関連事業	567	600	33
再生可能エネルギー 関連事業	881	2,900	2,019
不動産事業	1,765	1,000	△ 765
経営基盤	35	200	165
合 計	3,248	4,700	1,452

3. 基本戦略

(1) 企業価値向上経営の進展

新規ビジネスの拡大、基盤事業収益の維持と周辺事業の取込、コスト構造の見直しにより当社の稼ぐ力をさらに高め、エネルギー企業としてステークホルダーに持続的価値を提供していくとともに、資本構造の改善を進めることによって企業価値を向上させます。

重点目標及び具体的戦略は以下のとおりです。

① 再生可能エネルギー関連事業の成長

再生可能エネルギー関連事業の拡大を推進し、バイオマス燃料販売をはじめとする新規ビジネスを主要ビジネスへと昇華させてまいります。太陽光発電や産業用商材開発と、再生可能エネルギーを中心とした研究開発に注力してまいります。

② コア事業の強化

石油関連事業において、産業用エネルギーとルブリカンツ、LPガスや石油由来の製品などこれまで当社がメイン商材として取り扱ってきた商品・サービスについては、今後も当社の使命として、お客様にとっての価値をより高めながら提供してまいります。また安定ビジネスである不動産事業についても、物件ポートフォリオを適宜見直し、機動的に入替えを行うことで事業全体の価値向上を図ります。

③ モビリティ事業の進化

SSを自動車向けエネルギー供給拠点に加えて、トータルカーケアを行うカーメンテセンター設置のほか、地域と協力してシェアサイクル事業を拡大させ、自動車だけでなく他の移動手段も含めたビジネスを展開することによりモビリティ事業へと進化させ、新たな事業として確立してまいります。

(2) サステナビリティ経営の推進

社会と当社の双方の面からサステナビリティを意識した事業や経営を推進し、脱炭素化、人的資本重視・多様化への取組みを強化してまいります。

以上